



タイは、新型コロナの影響で学校再開は7月1日。そこで本日が今年度最初のスカイプである。バンコクには予め右のプロフィールを送ってある。

11:00 津島高校からスカイプ通話開始の合図を送ると、すぐにつながる

11:01 第1グループのスカイプ

「インディー ティーダイ ルウチャック(はじめまして)」の挨拶のあと、緊張した表情のまま「いつ学校が再開されたか」、「学校の始業・終業の時間」、「放課後何をしているのか」などお互いにいくつか質問をして、それに答える形で進めていった。バンコクの学校では、始業は8時で終業は16時半とのこと。放課後はサッカーやバレーボールなどの運動をする生徒もいれば、勉強する生徒もいる。遅くなると19時まで残る生徒もいるようだ。



また、タイフードの話になり、料理の名前を言われてもどういふものかわからないと言うと、スマホで画像を示してくれた。

11:26 第2グループのスカイプ

この第2グループでは、主にサブカルチャーの話題を取り上げた。アニメソングや映画について盛り上がる予定であったが、なかなか共通の話題に近づけず苦労した。それでも、“shrine”(神社)の話になると、最初は理解してもらえなかったが、似たような単語の“temple”(寺)が“Wat”(タイ語で寺院)ということがわかり、こちら側からスマホで神社の画像を見せると会話は弾んでいった。



11:47 第3グループのスカイプ

このグループは、日本の和菓子の紹介をしようと思っていた。「温泉まんじゅう」、「羊羹(ようかん)」、「水・信玄餅」といったものだ。予定では、「日本は地震が多くそれに伴って温泉も多く、その温泉の蒸気を使用してまんじゅうをつくる」という流れであったが、そのまんじゅうに何が入っているのか答えて終わり、となってしまうやや残念であった。一方で、スカイプを始めて1時間ほど経っているのだが、バンコクの子高生が何度も後ろを振り向いたときにちらと見える赤いリボンが印象的で、そのリボンを“very cute”とほめたところ、髪の毛からとってくれて「学校の所定のリボン」だと教えてくれた。よく見ると、Matthayom Watsuttharam(ワットスッターラム高校)と書いてある。本校から訪問の際に、本校の女子生徒がこの赤いリボンを着けていることを想像すると何かしらとても幸せな気分になった。



12:13 気になる話題でフリートーク

予定の1時間半が近づいてきたため、終盤は若者らしい話題で大いに沸いた。思いのほかK-POPの話題が主となり、そのジャンルに詳しい生徒が今まで見せなかったような積極さで話し出した。その方面には興味がない者にとって、日本とタイ両国でわざわざK-POPでヒートアップすることはないと思うがこれはこれで、ウインウインではなくウインウオンの関係ととらえていくことにして会話を聴いていた。

なお、本日伝えきれなかったところは、次回7月29日(水)に向けての課題である。



Our Brief Profiles

1st Group



2nd Group



3rd Group

